

6. Service Kits.

121 Actuator Service Kit comprising:

| | |
|-----------------------------------|---|
| 170 VGT™ Type 2 Electric Actuator | 1 |
| 171 Gasket, Actuator | 1 |
| 106 Screw, Socket Head | 4 |
| 172 Grease Tube | 1 |
| 173 Installation Sheet | 1 |
| 175 Setting Pin | 1 |
| 176 Tie Wrap | 2 |

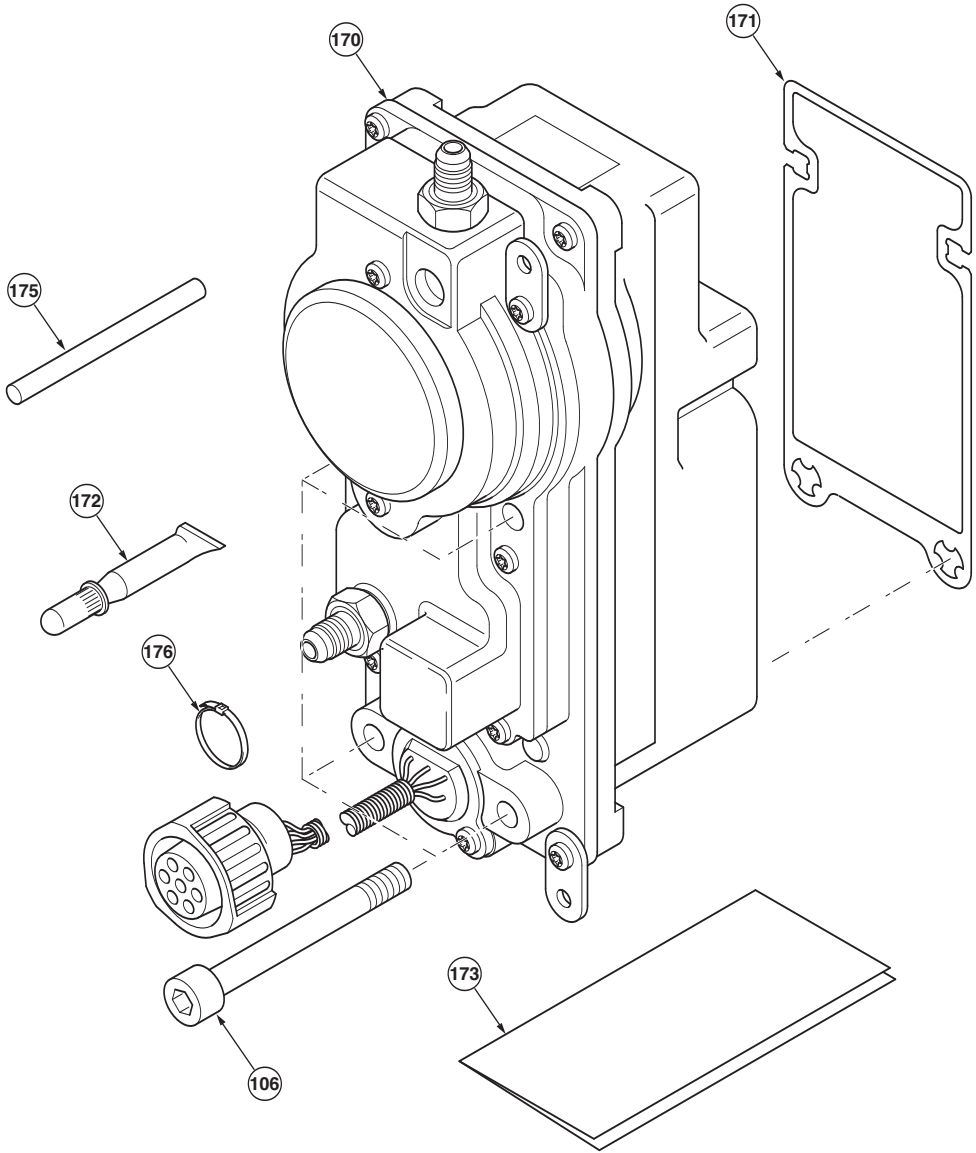
122 Actuator Mounting Kit comprising:

| | |
|------------------------|---|
| 171 Gasket, Actuator | 1 |
| 106 Screw, Socket Head | 4 |
| 172 Grease Tube | 1 |
| 173 Installation Sheet | 1 |
| 175 Setting Pin | 1 |
| 176 Tie Wrap | 2 |

174 Interface Box.

1

6. Exploded Illustration.



日本語

注意:ターボチャージャーの正しくない使用あるいはターボチャージャーへの変更は故障の原因となります。エンジン・メーカーの説明書と修理指示をよくお読みくださるようお願いいたします。
注:実例は一般例です。特に代表的でないトルク図はすべてサービス・データシートの中で公表されます。最新の更新があるかwww.holset.comをチェックしてください。
Copyright©2007Holsetエンジニアリング会社株式会社。Holset®, VGT™はHolsetエンジニアリング会社株式会社の登録商標です。

1. 警告, 注意
警告
常に安全ガラスをかけてください。
警告
アクチュエーター上で点検する場合、常にエンジンを止めてください。(図1.1)、
警告
熱い液体による火傷を回避するために、エンジンが熱い場合(図1.1)、ウォーターコネクションを分離しないでください。
注意
点検する前にHolsetおよびオリジナルの設備メーカーのサービス・マニュアルをよく読んでください。
Holsetのサービス・マニュアルおよび参照データシートはwww.holset.comで利用可能です。

2. アクチュエーターの取り外し
2.1 電線ケーブルおよび送水管が完全に接続されることを確認してください。圧力洗浄機を使用して汚れを落としてください。(図1fig)2.1)。
2.2 エンジン・システムがキースタッフ状態であることをチェックしてください。エンジンケーブル(図2.2)からアクチュエーターケーブルを分離してください。
2.3 エンジン冷却装置の排水をしてください。M10またはM12アクチュエーター冷却管(図2.3)を分離してください。
2.4 M6 x 1(5mm)のA/Fアラン・キー)4本のソケット頭ねじを緩めて取り、ターボチャージャーを取り付けているところから、アクチュエーターを分離してください。ガスケットを取り除いてください。(図2.4)
2.5 アクチュエーターが再度使用されるかもしれない場合は、清潔で乾燥したメリヤスにて駆動ギヤーを保管してください。
注意
置換が必要な場合、正しいユニットは部品番号をチェックすることによってすることができします。(図2.5)

3. VGメカニズムの点検
3.1 手によってセクター・ギヤーを右回りに回転させて、サービス・キットの中で供給された、セッティングピンがギヤーを通過して5mmの穴にきちんとはまることを確かめてください。ピンを取り除いてください。(図4.3)。
3.2 セクター・ギヤーを左回りに回転させて、より小さな3mmの直径x2mm深い目撃穴を横切ってセクター・ギヤーの側面がその穴と整列することを確認してください。(図3.1)。
3.3 セクター・ギヤーの回転と摩擦が一度適切に行われれば、過度の力をつかわずに手動回転は「行われるはず」です。
3.4 3つの上記のチェックのうちの1つでも満足でない場合は、アクチュエーターを交換しないでください。ターボチャージャーを変更する。

4. アクチュエーター取り付け準備
4.1 ターボチャージャー上にアクチュエーターを取り付けるに先立って、アクチュエーター駆動ギヤーがターボチャージャー・セクター・ギヤーのかみ合う正確な位置にあることを確認してください。
取り付け準備プロセスは電子的に行われます。
重要な注意事項:
ドリルの回転、ギヤーの説明、「および軸受け家のいくつかの取り付けなどの図は実例の鏡像です。実際の位置および回転はすべて図示されたものの反対になります。

OEMの用具が手に入らなければ診断的および取付け関係機能を行なうために、アクチュエーターがエンジン・ハーネスから切り離された後Holset Aspect™ソフトウェアおよびハードウェアはアクチュエーターに(CAN-バス・インターフェイス装置およびケーブル)。接続することができる「プレインストール」の(4.2)または「目盛りを付ける」の(5.8)の命令をサービス・ツールから初期化してして下さい。使用されているソフトウェアシステムは設置オフセット値が入れられるように要求したら90という値を使用して下さい。

4.2 前整列の電子的コマンドが始められる時、アクチュエーター駆動ギヤーはそれに正確な回転前位置に移ります。(図4.2) 駆動ギヤーをこの点以上に移らないでください。
警告:
取り付け準備の間、手およびほかの工具をドライブ・ギアから遠ざけていてください。
4.3セッティング・ピンをギヤーとギヤーホールと照合する穴へ通すことによって、準位置のターボチャージャー・セクター・ギヤーはそれを回転させることが可能です。(図4.3)ピンを取り除いてください。アクチュエーター設置に先立った提携したセクター・ギヤーは回転させないでください。

5. アクチュエーター取り付け
5.1 一旦アクチュエーター駆動ギヤーおよびターボチャージャー・セクター・ギヤーが適切に位置できたら、アクチュエーターはターボチャージャーに取り付けることができます。サービス工具に含まれているグリースをセクター・ギヤー(図5.1)のすべての面に均等に塗布してください。
5.2 あらかじめアクチュエーターを適合する面に対して垂直に保持してください。4つの押さえねじのうちの2つを対角線上に挿入してください。ガスケットを輪郭が描かれた位置に2本のねじで取り付けてください。(図5.2)
警告:
サービス・キットの中で供給された新しいねじおよびガスケットを常に使用してください。
5.3アクチュエーターとガスケットを整列させて2本のねじで取り付けてください。2本の追加のファスナー(図5.3)を挿入してください。
警告:
フィラメントとガスケットが正しく位置される間は、手および他の工具をアクチュエーターとターボチャージャー・インターフェースから離しておいてください。
5.4 M6 x 1(5mm)のA/Fアラン・キー)
T1: 3(26) T2:11 (97)
トルク4 アクチュエーターをT1対角線のシーケンスを使用してねじによって取り付けてください。T2(図5.4)へのトルク・シーケンスを繰り返してください。
5.5 M10あるいはM12
冷却管と冷却装置(図5.5)を取り付けてください
注意:
入り口と出口の配管が正しい冷却液ポート・アダプターに接続されることを確認してください。
5.6 冷却管のトルクはエンジン・メーカー・サービス・マニュアルにおいて説明してあります。(図5.6)
5.7アクチュエーターケーブル、エンジンケーブルおよび冷却管がエンジン・サービス・マニュアルに説明されてあるように経由し取り付けられていることを確認してください。
5.8選択されたサービス道具からアクチュエーター目盛りを付ける。および自目盛りを付ける命令を初期化して下さい(参加:重要項目4.1)
電子サービス用具を切り、エンジンシステム・ハーネスを再接続しない。
5.9 ターボチャージャーアッセンブリーは、サービスに返す準備ができています。

6. サービス・キット
121アクチュレーター工具
170 VGT Type 2 電子アクチュレーター1
171 ガスケット、アクチュレーター1
106 スクリュー、ソケットヘッド4
172 グリース1
173 説明図1
175 セッティング・ピン1
176 タイ・ラップ2
121アクチュエーター取り付け工具
171 ガスケット、アクチュレーター1
106 スクリュー、ソケットヘッド4
172 グリース1
173 説明図1
175 セッティング・ピン1
176 タイ・ラップ2
174 インターフェースボックス1
6. 工具図